

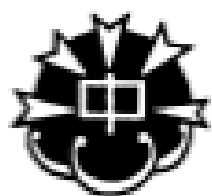
令和3年度 不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

使命 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
 遵法 私たちは、法令を遵守します。
 公正 私たちは、不祥事を許しません。
 公開 私たちは、地域に開かれた学校にします。

呉市立明德中学校
校長 畑尻 佳括

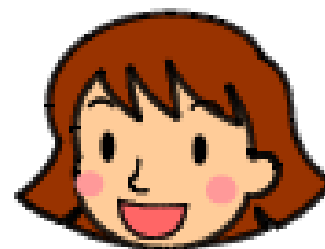
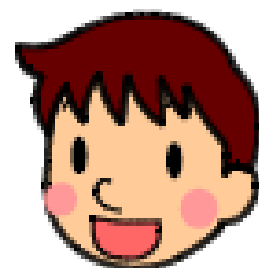
| 区分 | 本校の課題 | 行動目標 | 取組内容 | 点検方法・時期 |
|--------------------|---|--|---|-------------------------------------|
| 教職員の規範意識の確立 | ○服務研修のマンネリ化を防ぐための研修内容の充実 ○日常的に「ヒヤリ・ハット」を意識する必要がある。 | ○服務研修の方法や内容等を見直し、教職員参加型・体験型の研修を実施している。 ○教職員で分担し、当事者意識が高まる研修を行っている。 | ○事前の不祥事防止委員会で服務研修の内容を検討し、方法や内容等を改善する。 ○いつも自分の周りで不祥事があるという想定で研修に取り組む。 ○県内外の資料を活用して常に危機意識を持てる内容の研修を行う。 | ○研修後の不祥事防止委員会で、効果を検証する。 |
| 学校組織としての不祥事防止体制の確立 | ○危機感を持った体制づくりの確立 | ○教職員間のコミュニケーションをさらに促進し、組織で業務を進めている。 ○報告・連絡・相談により、校内の情報を共有している。 | ○学年部や各分掌等で互いの業務の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないようチームでサポートする体制をつくる。 | ○各分掌会及び各学年部会、企画委員会で情報交換を行い、状況を把握する。 |
| 相談体制の充実 | ○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」「スクールカウンセラー相談窓口」の認知度が低い。 | ○PTA会員が「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」「スクールカウンセラー相談窓口」の存在を知っている。 ○スクールカウンセラーと連携し、相談体制を作り、誰もが相談しやすい状況がある。 ○生徒及び教職員の小さな変化に気づき、相談しやすい環境を教職員全員でついている。 | ○学校だよりやホームページで、各窓口を周知するとともに、校内すべての教室にポスターを掲示する。 ○いじめアンケート後に、全生徒を対象に、教育相談(生徒指導、進路指導の観点)を行い、保護者懇談会で話題にする。 ○教育相談後に、組織として共有すべき情報を全体に周知する。 | ○期末懇談会で保護者から意見を聞き取る。 |



教育の原点

呉市立明德中学校

子どもたちは、
私たちの姿を見て
育ちます。



-
- 使命** 私たちは、子どもたちを守り、育てます。
 - 遵法** 私たちは、法令を遵守します。
 - 公正** 私たちは、不祥事を許しません。
 - 公開** 私たちは、地域に開かれた学校にします。